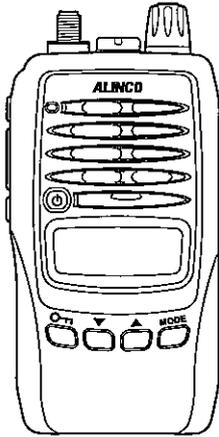
ALINCO

複数波アナログ簡易無線電話装置

DJ-BU10C

（総務省技術基準適合品）

取扱説明書

アルインコFMトランシーバーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機の性能を十分に発揮させるために、この取扱説明書を最後までお読みいただくようお願いいたします。アフターサービスなどについても記載していますので、この取扱説明書は必ず保管しておいてください。また、補足シートや正誤表が入っている場合は、取扱説明書と合わせて保管してください。
本製品をご使用になるためには、総務省の無線局の免許が必要です。

本機は日本国内専用モデルです。海外では使用できません。
This Product is for use only in Japan.

アルインコ株式会社

付属品

本製品には以下のものが付属しています。ご使用前に確認してください。

□本体
□アンテナ
□ベルトクリップ
□取扱説明書（本書）
□保証書

> ⚠**注意**
> 保証書に購入の日付が記載されていないときは、レシートを保証書と一緒に保管してください。ご購入日が証明できる書類が無いと保証サービスは無効となりますのでご注意ください。

> **参考**
> 本機のアンテナは折れにくくするために通常のものより柔软な素材でできており、異常ではありません。

ベルトクリップの取り付け方

ベルトクリップを本体の背面部の溝に合わせて取り付け、ネジを時計方向(右)に回して固定します。

定　格

送受信周波数：	465.0375MHz ~ 465.1500MHz(10ch) 468.5500MHz ~ 468.8500MHz(25ch)
電波形式：	F3E(FM)
通信方式：	単信(プレストーク)
送信出力：	5W+20%、−50%以内
自動識別装置：	副搬送波MSK方式1200bps
受信感度：	−8dBμ以下(12dB SINAD)
受信方式：	ダブルスーパーヘテロダイン
低周波出力：	0.7W以上(10%歪時)
副次的に発する電波等の強度：	4nW以下
定格電圧：	7.4V
定格寸法：	58 × 110 × 38.8mm (EBP−76使用時) (幅× 高さ× 奥行き：突起物を含まず)
本体重量：	290g(アンテナ、バッテリー、ベルトクリップ含む)

■仕様・定格は予告なく変更する場合があります。
■本書の説明用イラストは、実物とは字体や形状が異なる、一部の表示を省略している、等の場合があります。
■本書の内容の一部、または全部を無断転載することは禁止されています。乱丁・落丁はお取り替え致します。

アルインコ株式会社 電子事業部

東京営業所 〒103-0027 東京都中央区日本橋2丁目3番21号 八重洲セントラルビル4階 TEL.03-3278-5888
大阪営業所 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4丁目4番9号 淀屋橋ダイビル13階 TEL.06-7636-2361
福岡営業所 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1丁目3番6号 第3博多偕成ビル7階 TEL.092-473-8034

アフターサービスに関するお問い合わせは
お買い上げの販売店または、フリーダイアル 0120-464-007
全国どこからでも無料で、サービス窓口につながります。
受付時間／10:00~17:00月曜~金曜(祝祭日及び12:00~13:00は除きます)
ホームページ　http://www.alinco.co.jp/「電子事業」をご覧ください。

PS0594
FNNM-NG

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前にお読みください。

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損失を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示	表示の意味
⚠ 危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

図記号	表示の意味
⚠	△記号は、注意(危険・警告含む)を促す内容があることを告げるものです。
⊘	○記号は、行為の禁止であることを告げるものです。
❗	左の記号は、行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。

本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因にて通信などの機会を失ったために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

⚠警告

■使用環境・条件

自動車等の運転中に使用しないでください。交通事故の原因となります。
運転者が使用するときは車を安全な場所に止めてからご使用ください。
携帯型無線機を運転者が走行中に使用すると道路交通法違反で罰せられます。

電子機器(特に医療機器)の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障・誤動作の原因となります。

内部から漏れた液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。

航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺、病院内では絶対に使用しないでください(電源も入れないで下さい)。運行の安全や無線局の運用、放送の受信に支障をきたしたり、医療機器が故障・誤動作する原因となります。

この製品を使用できるのは、日本国内のみです。外国では使用できない地域があります。保証書は国内でのご使用のみに適用されます。
This model has been designed for use only in Japan.
Warranty is void when used outside of Japan.

この製品を人命救助などの目的で使用して、万一、故障・誤動作などが原因で人命が失われることがあっても、製造元および販売元はその責任を負うものではありません。

この製品どうし、または他の無線機とともに至近距離で複数台使用しないで下さい。
お互いの影響により故障・誤動作・不具合の原因となります。

この製品を何らかのシステムや電子機器の一部として組み込んで使用した場合、いかなる誤動作・不具合が生じても製造元および販売元はその責任を負うものではありません。

指定以外のオプションや他社のアクセサリー製品を接続しないでください。
故障の原因となります。

■トランシーバー本体の取扱いについて

イヤホンを使用する場合、あらかじめ音量を下げてください。聴力障害の原因になることがあります。

このトランシーバーは絶対に改造して使用しないでください。
法律で禁止されているうえ、故障の原因となり、保証の対象外になります。

⚠注意

■使用環境・条件

テレビやラジオの近くで使用しないください。電波障害を与えたり、受けたりすることがあります。

湿度の高い場所、ほこりの多い場所、風通しの悪い場所には置かないでください。
火災・感電・故障の原因となることがあります。

ぐらついた台の上や傾いた所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

直射日光があたる場所など、異常に温度が高くなる場所には置かないでください。
内部の温度が上がるとケースや部品が変質・変形・変色し、火災の原因となることがあります。

調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気があたる場所には置かないでください。
火災・感電・故障の原因となることがあります。

■トランシーバー本体の取扱いについて

アンテナが誤って目にささらないように注意してお使いください。

外部スピーカー/マイクロホン端子にはオプションのスピーカー/マイクロホン以外は接続しないでください。故障の原因となることがあります。

長時間ご使用にならないときは、安全のため本体の電源をOFFにし、電池を取り外し、チャージャーをご使用の場合はACアダプターをACコンセントから抜いてください。

■チャージャーの取扱いについて

チャージャーのACアダプターを抜くときは、コードを引っ張らないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。必ずACアダプターを持って抜いてください。

チャージャーのACアダプターを熱器具に近づけないでください。
火災・感電・故障の原因となることがあります。

布や布団で覆ったりしないでください。熱がこもり、ケースの変形や火災の原因となります。直射日光を避けて風通しの良い状態でご使用ください。

水などでぬれやすい場所（風呂場など）では使用しないでください。
火災・感電・故障の原因となります。

近くに小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。それらが中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。

■チャージャーの取扱いについて

当社指定以外の電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

チャージャーのACプラグのコードをたこ足配線しないでください。加熱・発火の原因となります。

濡れた手でAC アダプターに触れたり、抜き差ししたりしないでください。
感電の原因となります。

ACアダプターはACコンセントに確実に差し込んでください。
ACアダプターの刃に金具などが触れると、火災・感電・故障の原因となります。

AC アダプターの刃に、ほこりが付着したまま使用しないでください。
ショートや加熱により火災・感電・故障の原因となります。

■異常時の処置について

以下の場合は、本体の電源をOFF にして、電池を取り外し、チャージャーをご使用の場合は、ACアダプターをACコンセントから抜いてください。異常な状態のままで使用すると、火災・感電・故障の原因となります。修理はお買い上げの販売店、または当社サービス窓口にご連絡下さい。お客様による修理は、危険ですから絶対におやめください。分解の痕跡があると、保証の対象外となります。

- ◆ 異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするとき
- ◆ 落としたり、ケースが破損したりしたとき
- ◆ 内部に水や異物が入ったとき
- ◆ ACアダプターのコードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）

雷が鳴り出したら、安全のためACアダプターをACコンセントから抜いて、ご使用をお控えください。

■保守・点検

本体やチャージャーのケースは開けないでください。けが、感電、故障の原因となります。内部の点検・修理はお買い上げの販売店、または当社サービスセンターにご依頼ください。
ケースを開けて内部を改造、変更することは法律で禁止されています。

■保守・点検

お手入れの際は、安全のため必ず本体の電源をOFFにして、電池をとりはずし、チャージャーをご使用の場合は、ACアダプターをACコンセントから抜いてください。

汚れた場合は、柔らかいきれいな布で乾拭きしてください。ベンジン、シンナー、アルコール、洗剤などを使うと外装や文字が変質するおそれがあります。

■防浸性能について

この製品は、弊社の設計段階でJIS保護等級7規格の防水試験に合格しており、防水キャップ類を正しく閉めていれば雨や雪の中でも防水カバーなしでおつかいいただけます。ただし、全ての製品を出荷前に防水検査してその性能を保証するものではない「相当品」ですので、無用な水没や流水での洗浄などは絶対にお止めください。また、ぬれた後は乾いた布で拭く、電池を抜いて内部もよく乾燥させるなどメンテナンスを心がけていただくと、長く正常な状態でお使いいただけます。外部MIC/SPを使用しない場合は、必ずジャックキャップを正しく取り付けてください。なお、防水に使われているゴム素材などは、経年劣化のため変質し、防水性が失われる場合があります。弊社では、防水性についても製品と同じ1年を保証期間とさせていただきます。

使用前のご注意

■使用場所によっては思わぬ電波障害を引き起こすことがあります。
次のような場所では使用しないでください。
(航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺、病院内など)

■本機を分解、改造して使用することは、法律でかたく禁じられています。

■海外では法律や周波数の割り当てが異なるため使用できません。
This product is permitted for use in Japan only.

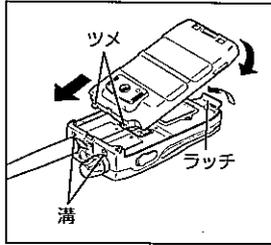
■電波法上のご注意

- ・本機は簡易業務無線機です。使用するには無線局免許が必要です。
- ・免許状に記載されている範囲内でご使用ください。
- ・他局の通信を妨害したり、傍受した内容を他に漏らしたり、傍受した内容を盗用することは法律でかたく禁じられています。

■電波を使用している関係上、無線機間の通話は第三者による傍受を完全に阻止することは出来ません。そのため機密を要する重要な通話に使用することはお勧めできません。

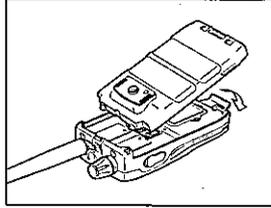
バッテリーパックの取り付け/取り外し

■バッテリーパックの取り付け方

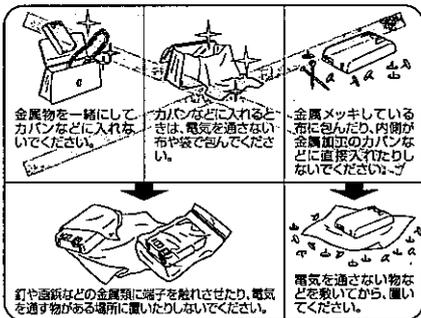
バッテリーパックのツメを本体の溝に合わせ、バッテリーパックを矢印の方向に押し込みながらラッチを閉じます。「カチッ」と音がするまでしっかりと閉じてください。

■バッテリーパックの取り外し方

バッテリーパックからラッチを矢印の方向に外し、バッテリーパックを取り外します。

注：ラッチを外す時は、指や爪などを傷めないよう、十分に注意してください。

⚠注意

- バッテリーパックは出荷時には十分に充電されておりません。お買い上げ後にフル充電してからご使用ください。
- 充電は0℃~40℃の温度範囲内で行ってください。
- バッテリーパックの改造、分解、火中、水中への投入は絶対にしないでください。発熱・破裂などの可能性もあり、大変危険です。
- バッテリーパックの端子は絶対にショートさせないでください。機器の損傷や、バッテリーの発熱による火傷の原因となることがあります。
- 必要以上の長時間の充電(過充電)はバッテリーの性能を低下させますのでお止めください。
- バッテリーパックの保存は−10℃~45℃の温度範囲で湿度が低く乾燥した場所を選んでください。それ以外の温度や極端に湿度の高い所では、バッテリーの液漏れや、金属部分の錆の原因になりますので避けてください。
- バッテリーパックは消耗品です。所定の時間充電しても使用時間が著しく短い場合は寿命がつきたものと思われます。新しいものにお取替えください。
- バッテリーパックはリサイクル資源です。再利用しますので、廃棄しないでバッテリーパック回収協力店へご持参ください。

バッテリーパックのショート防止

バッテリーパックを持ち運ぶときは、十分ご注意ください。ショートによって電流が急増し、発火の原因となることがあります。

リチウムイオンバッテリーパックの充電方法

オプションの専用充電スタンド(EDC-163R)とACアダプター(EDC-172もしくはEDC-175)を接続してリチウムイオン充電池パックを充電します。

注：リチウムイオン充電池パックをお買い上げいただいたとき、または長い間使用しなかったときは、フル充電してからお使いください。専用充電スタンドでしか充電できません。

充電スタンドのランプが赤色に点灯し、充電が完了するとランプが消灯します。
充電時間は空のバッテリーパックをフル充電する場合、約3.5時間です。

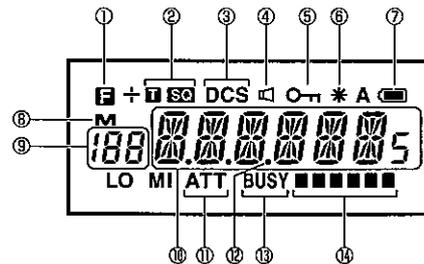
注：バッテリーパックがフル充電に近いと、充電開始を知らせるランプが点灯しません。
充電終了後、ACアダプターをACコンセントから外してください。
長時間充電したままにしておくと、充電池パックを劣化させることがあります。
充電中は、本機の電源を切る必要はありませんが、受信音にノイズが混入する場合があります。また故障の原因となりますので送信はしないでください。
無線機を付けた状態でうまく充電できない場合は、電池単体で充電してみてください。
ACアダプター(EDC-175)を使用した場合、充電スタンド(EDC-163R)を最大6台連結して充電できます。

本体の名称と動作

①	ダイヤル	ダイヤルを回して受信音量を変更できます。
②	外部MIC/SP端子	当社オプションの外部マイク/スピーカーを接続します。使用しない場合は、防水のためジャックキャップをしっかりと取り付けておき、時々ゆるみがないか点検してください。
③	SMAアンテナコネクター	付属のアンテナをしっかりとねじ込みます。別売のアンテナを使用する場合は、動作周波数範囲内に調整されたアンテナをお選びください。
④	スピーカー	スピーカーが内蔵されています。
⑤	TX/RXランプ	スケルチが開くと緑色に点灯します。送信中は赤色に点灯します。
⑥	FUNC キー	FUNCキーと他のキーを組み合わせて各機能の設定を変更するときに使います。
⑦	PTT キー	PTTキーを押すと送信します。PTTキーを離すと受信に切り替わります。
⑧	MONI キー	MONIキーを押すとスケルチが開き受信音が聞こえます。TSQ/DCSが設定されていても一時的に解除されスケルチは開きます。FUNC点灯中にMONIキーを押すとランプ照明が約5秒間点灯します。
⑨	電源スイッチ	電源スイッチを1 秒間押すと電源のオン・オフが出来ます。
⑩	マイク	送信時、マイクから口を約5cm離して、通常の声量で話してください。
⑪	ディスプレイ(LCD)	「ディスプレイの表示」の項目を参照ください。
⑫	キーパッド	「キー操作」の項目を参照ください。

キー操作

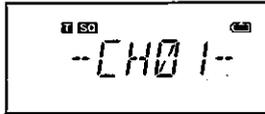
キー	
O⊓	約2秒間押して、キーロック設定/解除
▼	周波数チャンネル番号、各設定項目のDOWN
▲	周波数チャンネル番号、各設定項目のUP
MODE	チャンネル番号、周波数、TSQ周波数(もしくはDCS番号)の表示の切り替え

ディスプレイ表示

①	F	FUNCキーを押すと点灯します。
②	T SQ	トーンスケルチ設定時に点灯します。
③	DCS	DCS設定時に点灯します。
④	(スピーカー記号)	CALLBACK機能設定時に点灯します。
⑤	O⊓	キーロック設定時に点灯します。
⑥	✳	コンパンダー機能設定時に点灯します。
⑦	(電池記号)	バッテリー残量を表示します。
⑧	M	メモリーモード時に点灯します。
⑨	188	チャンネルNo.を表示します。
⑩	8.8.8.8.8.8.5	送信・受信チャンネル番号(周波数)や各設定内容を表示します。
⑪	ATT	アッテネーター設定時に点灯します。
⑫	•	周波数やスキャン動作を表示します。
⑬	BUSY	スケルチが開くと点灯します。
⑭	■■■■■■	受信レベルと送信出力レベルを表示します。

通話のしかた

■電源を入れる

「⏻」キーを約1秒押すと電源が入ります。
もう一度「⏻」キーを約1秒押すと電源が切れます。

T SQ
-CH01-

■音量を調整する

音量調整は、(00)〜(30)までの31段階です。
初期状態は00(最小)です。00 の場合、音声は聞こえません。
ダイヤルを回して音量レベルを調整します。
設定値を大きくすると音量も大きくなります。
PTTキーを押して設定を終了します。
ダイヤルの無操作状態が約5秒続いても自動的に設定を終了し通常表示に戻ります。

■スケルチを調整する

スケルチとは、受信信号のないときに出る「ザー」というノイズ音をカットする機能です。
「スケルチが開く」とは、信号を受信して受信音を出すことができる状態を示します。
・スケルチレベルは、(00)〜(10)までの11 段階です。
・初期状態は00(最小)です。
FUNCキーを押して、F点灯中にダイヤルを回してスケルチレベルを調整します。
通常はノイズが消える最小のレベルに設定します。レベルが高すぎると弱い信号は受信できなくなります。このレベルは使うチャンネルや電波環境により変わることがあるので調整ができるようになっています。
PTTキーを押して設定を終了します。
ダイヤルの無操作状態が約5秒続いても自動的に設定を終了し通常表示に戻ります。

■受信するには

チャンネル番号(周波数)を選択します。信号が受信されると、ディスプレイにBUSYと受信レベルが表示され、受信音声が聞こえます。
またこの時、緑色のRXランプが点灯します。

■モニター機能

受信信号が弱かったり、途切れたりして聞きづらい時にスケルチを一時的に解除する機能です。
・MONIキーを押している間だけ、スケルチレベルの設定状態に関係なくスケルチが解除され、スピーカーから音が聞こえます。

■送信するには

チャンネル番号(周波数)を選択します。
PTTキーを押すと、赤色のTXランプが点灯し送信状態になります。
PTTキーを押しながら、本体の前面部の内蔵マイクから口元を5cm程離して普通の大きさの声で話します。
PTTキーをはなすと送信が終了し受信状態になります。

重要:
・マイクに向かって話すとき、声が大きすぎたり口元が近すぎたりすると、送信音が歪み(ひずみ)ますのでご注意ください。
・本機は防水を施すため、内蔵マイクの手前に特殊な布製素材を装着しています。このため、内蔵マイクを使用した時と外部マイク等のアクセサリーを使用した時で若干音質が変わって聞こえる場合がありますが、異常ではありません。

便利な機能

■キーロック

「O-π」キーを2 秒以上押すとキーロックが設定されます。

ディスプレイに「O-π」が点灯します。
キーロック時、FUNC、PTT、MONI、VOL、SQL、電源のON/OFFの操作のみが可能です。

■バッテリー警告機能

電池の残量が少なくなると、バッテリーアイコンが「□」になります。
バッテリーを交換するか、充電してください。

■リセット

FUNCキーを押しながら電源を入れます。

ディスプレイに全ての文字や記号が表示されたら、キーを離します。
ご購入時の状態になります。

保守・参考

故障とお考えになる前に

次のような症状は故障ではありませんので、よくお確かめになってください。処置をしても異常が続くときは、リセットをすることで症状が回復する場合があります。設定プログラム・CPU関連の問題は、リセットをすることで回復する場合が多いものです。

症状	原因	処置
電源を入れても、ディスプレイに何も表示されない。	バッテリーパックが接触不良を起こしている。	端子の汚れを清潔で乾いた布や綿棒で拭って取り除く。
	電池が消耗している。	電池を充電する。
	電源スイッチを離すのが早すぎる。	電源スイッチを少し長めに押す。
スピーカーから音が出ない。受信できない。	音量が低すぎる。	適切な音量に設定する。
	スケルチレベルが高すぎる。	適切なレベルに調整する。
	PTTキーが押され、送信状態になっている。	PTTキーを離す。
受信中に表示が点滅したり消えたりする。	電池が消耗している。	電池を充電する。
スキャンができない。	スケルチが開いている。	スケルチレベルを雑音が消えるところまで上げる。
送信ができない。送信しても応答がない。	PTTキーが確実に押されていない。	PTTキーを押して、TX/RXランプを赤く点灯させてから送信する。
	チャンネル(周波数)が違っている。	相手局のチャンネルに正しく合わせる。
送信ができない。送信すると、表示が点滅したり消えたりする。	電池が消耗している。	電池を充電する。
チャンネル(周波数)が切り替わらない。	キーロックが設定されている。	キーロックの設定を解除する。
キーによる操作ができない。	キーロックが設定されている。	キーロックの設定を解除する。
表示が異常になっている。	CPUが誤動作している。	リセットする。

＊ジャックキャップなどの防水パーツは消耗品であることに注意してください。
メーカーによるJIS7等級の防浸性能の保障期間は1 年間です。
取扱説明書では解決できないことについてサポートが必要な場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
最寄りの販売店の検索には、http://www.alinco.co.jp の「販売店のご案内」メニューをご利用ください。

製造終了製品に対する保守年限に関して

弊社では製造終了後も下記の期間、製品をお使い頂けるように必要な補修用部品を常備しています。但し不測・不可抗力の事態により在庫部品に異常が発生したような場合はアフターサービスをご提供できなくなることもありますので、予めご了承ください。

補修部品の保有期間は、生産終了後5年です。

オプション一覧

EBP-76	リチウムイオン充電池パック(7.4V 1800mA)
EDC-163R	連結用充電スタンド
EDC-172	ACアダプター(1台充電用)
EDC-175	ACアダプター(最大6台連結充電用)
EDS-14	MIC/SP プラグ変換ケーブル
EME-32A	イヤホンマイク(ヘビーデューティ：防水プラグ)
EME-36A	イヤホンマイク(防水プラグ)
EMS-62	スピーカーマイク(防水プラグ)
ESC-41	ソフトケース

重要:
上記リストのうち、EBP-76とソフトケース以外のオプションには防水機能がありません。防水機能のないオプションを水が直接掛かる場所や湿気の多い環境では使用しないでください。故障の原因となります。

EBP-76は本機に正しい方法で接続された場合にのみJIS7等級の防水機能が働きます。

バッテリー(充電池)パックは出荷時には十分充電されておりません。お買い上げ後、フル充電してからご使用ください。

MIC/SP(マイク/スピーカー)プラグ変換ケーブル(EDS-14)の取り付け

本機の電源を切ります。

プラグを時計方向(右)に回します。回転が止まったら、プラグを確実に取り付けたことを確認します。

MIC/SPケーブルをそれぞれのジャックに接続します。